

---

# トラップ攻防戦

kai

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

トラップ攻防戦

### 【Nコード】

N2007BA

### 【作者名】

k a i

### 【あらすじ】

2人の双子がいました

その双子はたいそう仲が悪くてこんなことを始めた

### 『トラップ攻防戦』

彼らが始めた戦い

(前書き)

皆さんおはようございます！こんにちは！こんばんは！どうもk a  
iです！面白半分に書いてみましたが、暖かい目で見えてやってくだ  
さい！！

主人公

遠藤俊えんどうしゅん

高校1年で成績は常に普通で人を畏にかけることが大好きな性格。

遠藤信介えんどうしんすけ

俊の双子の弟。人を畏にかけるのが大好きな性格。

俊 side

俺は、遠藤俊えんどうしゅん。市川高校の1年生。まだ入学したばかりだ。最近ちよっとヤンチャしていたもんで入れるかどうか不安だったが、無事合格!!そして、これから俺は部活動見学に行くのだ。俺にとっては、部活に入るつもりはなかったんだが・・・こいつがうるさいから・・・

「だめだよ俊。ちゃんと部活に入らないと」

ニヤニヤ笑いながら弟が言った

こいつの名前は、遠藤信介えんどうしんすけ俺の双子の弟で、人を畏にかけるのが大好きで面倒な性格だ。まったく勘弁してほしいぜ。

「はいはい、分かっておりますよ」

俺は適当に部活動見学をして、部活も適当に決めて、とつとつ家に帰った

「ただいまあゝ」

そう言うと俺は、真つ先にリビングに行き机に置いてあったのり塩味のポテチを取り・・・袋を開け・・・食べる！！  
これが俺の日常だ・・・

「・・・」

ぐぎゅるるるゝ

はっ・・・腹がー！！！！

なっ・・・なぜポテチを食った瞬間に腹が！

まっ・・・まさか！！

ポテチの中身を見た

そこには、下剤が仕込んであった

これは・・・一体・・・？

俺は、振り向いた

そこには、扉越しに覗き込む信介！

ニヤニヤ笑いながらこちらを見ていた

「お前・・・どうやって・・・ポテチに・・・下剤・・・を」

「あらかじめポテチの袋を少し開けておいたんだ。そして、その中に下剤を粉上にした物をポテチの中に流し込んでそして開け口を塞ぎよくポテチを振って目立つ所に置いておいたんだ！」

「信介！後で覚えてるよ！！」

俺は信介をどかしてトイレに急いで行った

### 信介 side

「ぐあーーーーー！！」

トイレから、俊の声が轟いた

俺は、その言葉を聞いて笑いが止まらなくなった

「あははははっ！！笑える！！俊は本当に騙されやすいなあ」

俺は、そう言いながら自分の部屋に行きベットに倒れこんで寝た  
目が覚めた時、もうあたりも暗くなっていた  
俺は、電気を点けようと立ち上がるとした

「!?!」

あれ・・・？体が動かない・・・？

なぜだ？なぜ動けない・・・

はっ！まさか・・・

俺は扉の方を見た

そこには、俊が笑いながらこちらを見ていた

「俊てめえ！！俺に何をした！！」

「ふははははっ！説明してやろう！今日の朝、お前のベットに超強

力の接着剤を仕込んであつたんだよ!」

「でもどうやって仕込んだんだ?朝からだと確実に接着剤が乾くはずだろ!」

「ふふっ!双子なのに俺の考えが分からないとはね」

「うるせえ!」

「しょうがない!説明してやろう!俺は、ゴム風船を使ったんだ!」

「ゴム風船?」

「そう!どこにでも売ってるゴム風船の中に接着剤を流し込み、そしてベットの上に置いたんだ!」

「でも、それだとすぐにバレるはずじゃあ・・・」

「確かにバレる!だがそれは、俺がお前の罠にハマッてさえいなければの話だ!」

「どづいつことだ？」

「いつも冷静なお前がトラップが成功した途端に気が緩み不注意になることを俺は昔から知ってるんだよ！つまり・・・！俺はお前からトラップを仕掛けることを知ってたんだよ！！」

俊は、人差し指を俺に向けて言った

くそ！昔からそうだ！俊は、俺の一步先を読みやがる！  
悔しがっている俺に俊は、

「助けてやろうか？」

俊は見下しながら言った

こいつ・・・うぜえ・・・！

「誰がお前なんかの助けを受けるか！」

その瞬間、俊はかわいそうな物を見るような目で見ていた

「や・・・やめろ！そんな目で俺を見るな！」

今度は、ニヤニヤ笑いながら言った

「あっ！ごめ〜ん！惨めに見えたからさ！」

くそ〜こいつ調子に乗りやがって〜！  
だが、今はもう打つ手なし！  
ここは大人しく降参するか！

「すみません・・・助けてください・・・」

「ん？今、何て言ったの？」

わざとらしく俊は聞いてきた  
こいつ・・・！

「すみません！！助けてください！！」

「しょうがない！助けてやるか！！」

次こそ降参させてやる—————！！  
くそ—————！！  
覚えてろ—————！！

タモさん aide

イタズラってどこまでが許されるんでしょうね〜

今の遠藤家の様子を見てるとイタズラの域を超えていましたね  
今、これをご覧になってるみなさん・・・お気を付けて下さい  
いつあなたを狙ってるか分かりませんからね  
では、私はこれで

(後書き)

皆さんどうだったでしょう？

まさかのタモさんオチです！

人気があったら書こうかと思っています

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2007ba/>

---

トラップ攻防戦

2012年1月5日00時45分発行